
令和4年3月定例会
令和4年度当初予算（案）総括



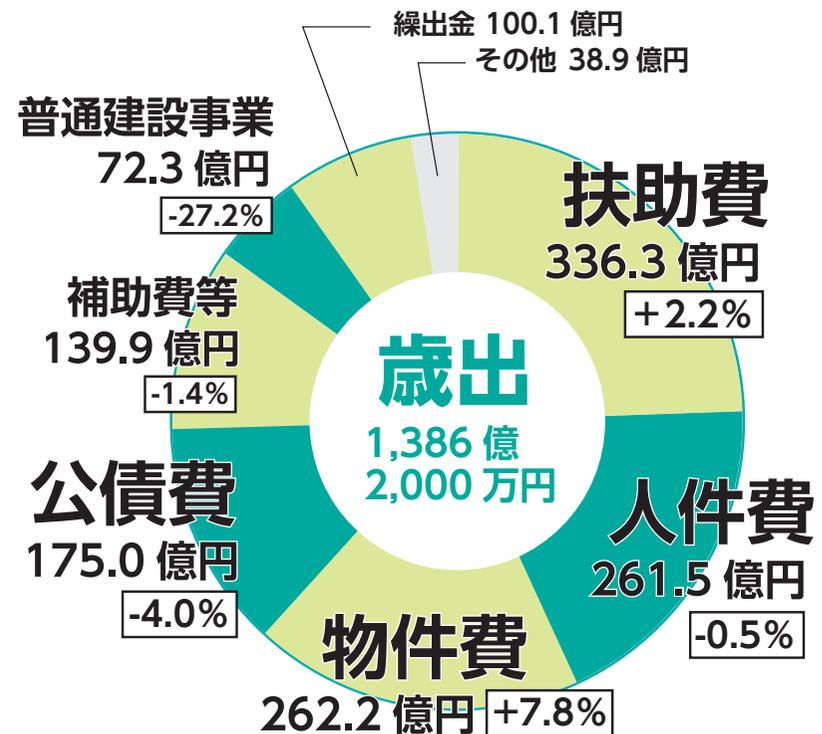
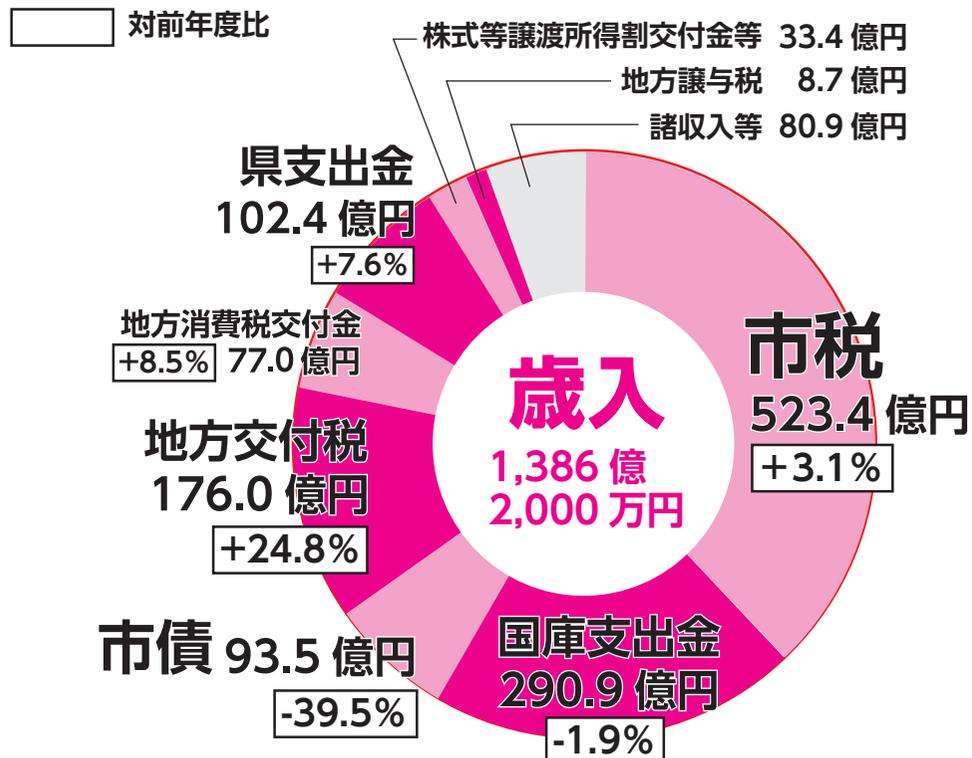
奈良市
Nara city

ポストコロナの未来社会に向けて、 持続可能な新しいまちをめざします。

令和4年度の当初予算は、新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組むとともに、長年の課題解決と、市民サービス向上のため行政のDXを推進する取り組み等に重点をおき、編成しました。

一般会計：1,386億2,000万円（対前年度比 △0.2%）

全会計：2,491億1,100万円（対前年度比 +2.2%）



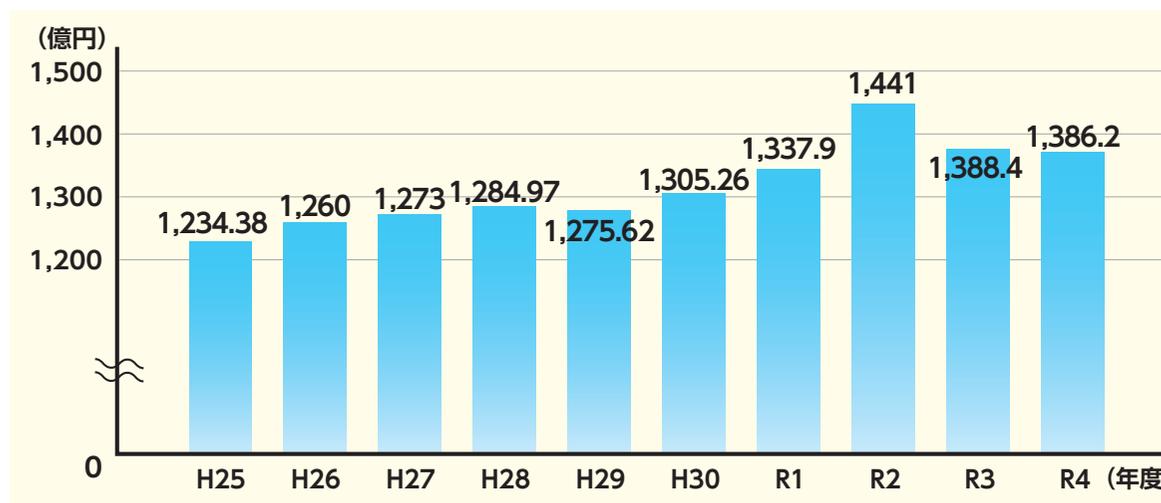
各会計の予算と予算規模の推移

(単位：千円)

会計名	令和4年度	令和3年度	増減	増減率
一般会計 (新型コロナ対応予算を除いた額)	138,620,000 (135,185,285)	138,840,000 (135,600,620)	△220,000 (△415,335)	△0.2% (△0.3%)
特別会計	80,692,500	77,062,500	3,630,000	+4.7%
企業会計	29,798,500	27,904,481	1,894,019	+6.8%
合計	249,111,000	243,806,981	5,304,019	+2.2%

予算規模の推移

令和4年度の当初予算案は、前年度と比較して2億2,000万円、0.2%の減となりました。

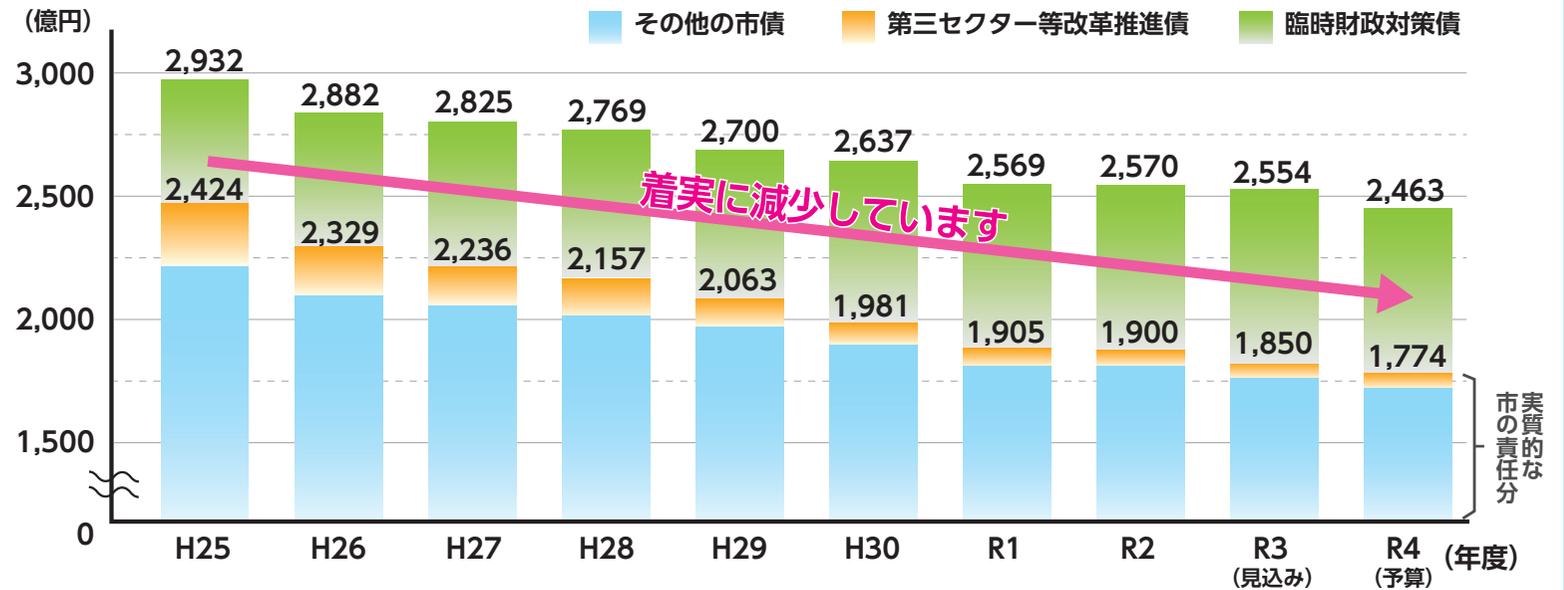


市債残高の推移と基金残高

市債残高については、将来世代の負担を軽減できるよう、着実な減少に努めています。特に、後年度に地方交付税として国から全額措置される臨時財政対策債を除いた「実質的な市の借金」は、10年間で650億円の減となる見込みです。

財政調整基金は、平成5年（40.9億円）以来の残高を確保しています。

市債残高の推移 ※各年度末残高



財政調整基金残高の推移 ※各年度末残高

